

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<9週> 感染性胃腸炎 - 定点当たり報告数は2週連続して増加し、九州地方を中心に21都道府県から2桁の報告がある / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ>
定点当たり報告数は2003年第4週をピークに減少してきているが、13の都道府県では第8週より増加している



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス



速報
P.6-9

インフルエンザ様患者からのHuman metapneumovirusの分離 - 宮城県 / ハノイ・香港等における病院内での原因不明の重症呼吸器疾患



海外感染症情報
P.10-11

コンゴ共和国でのエボラ出血熱流行 - 更新7 / ブルキナファソでの髄膜炎菌性疾患流行 - 更新3 / オーストラリア・ケアンズでのデング熱 / 英国での変異型CJD発病率の減少



感染症の話
P.12-14

マイコプラズマ肺炎
潜伏期は通常2～3週間で、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などであり、本邦では晩秋から早春にかけて報告数が多くなる。



読者のコーナー
P.15



グラフ総覧(9週)
P.16-22

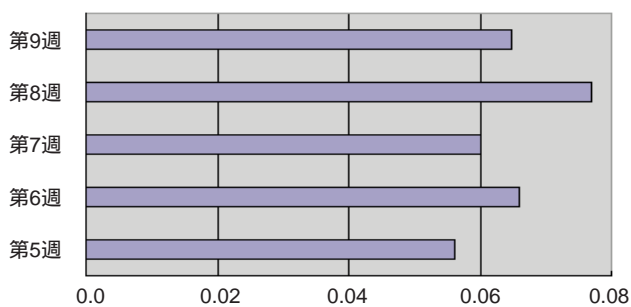


9週のデータ
P.23-31

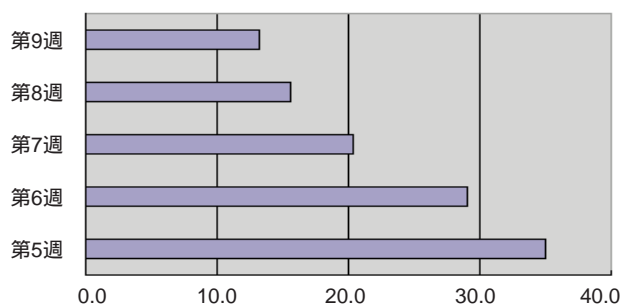
最近の注目疾患－5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べ増加した。咽頭結膜熱、インフルエンザ、水痘の定点当たり報告数は前週に比べ減少した。

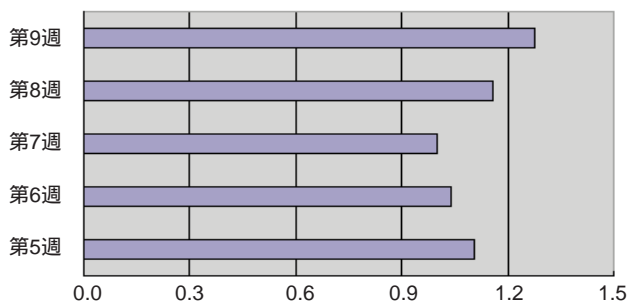
咽頭結膜熱



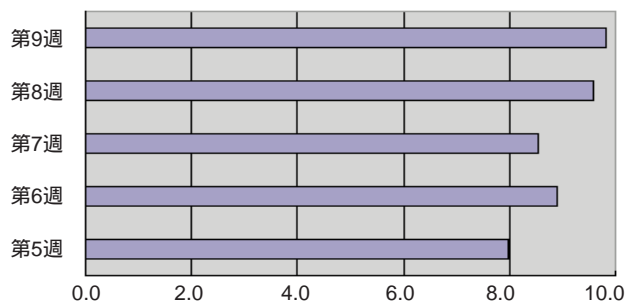
インフルエンザ



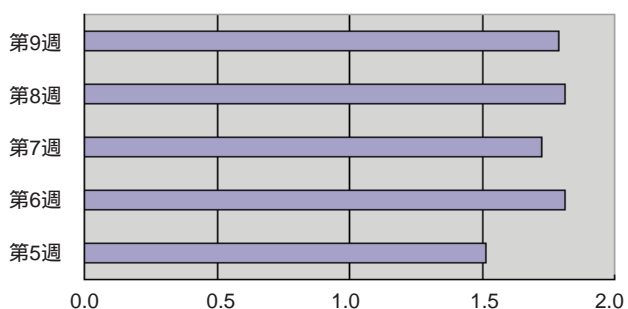
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



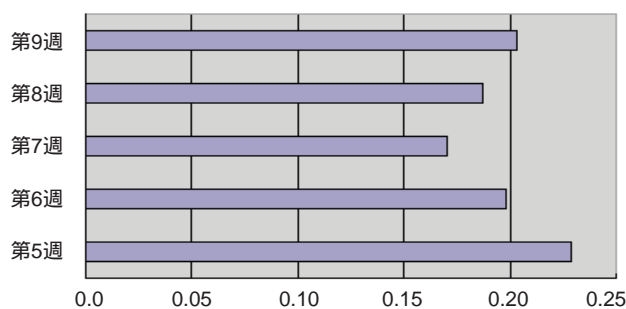
感染性胃腸炎



水痘



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

インフルエンザ

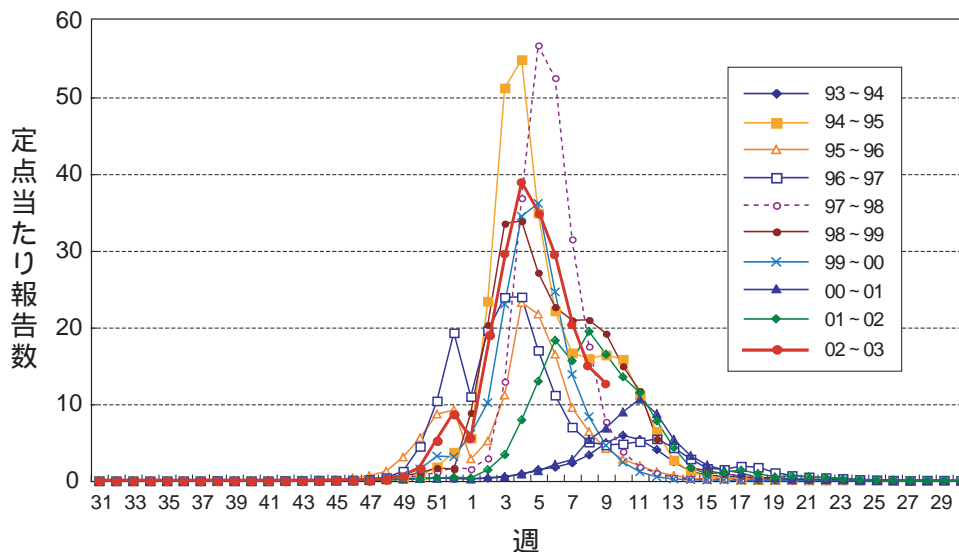
2002/03シーズンの定点当たり報告数は2003年第4週にピークがあり、38.7であった。その後35.2(第5週)、29.2(第6週)、20.4(第7週)、15.6(第8週)と徐々に減少してきたが、第9週では13.3と更に減少した。ただし、減少の仕方は緩やかとなり、佐賀県、徳島県、大分県など13の都道府県では第8週より増加しており、注意深く推移を見守る必要がある。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も分離報告がある。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離報告は未だない。

インフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>

図. 過去10年間のインフルエンザシーズン毎のトレンドグラフ



インフルエンザ警報・注意報

第9週においては、全国で注意報基準値を超えている保健所は78カ所、警報基準値を超えている保健所は246カ所であり、注意報、警報ともに減少し、感染症発生動向調査でも、同週1週間の全国レベル定点当たり報告数は13.3となり、順調に減少しつつある。

警報・注意報の地図情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/inf-keiho/trend02.html>



病原体情報

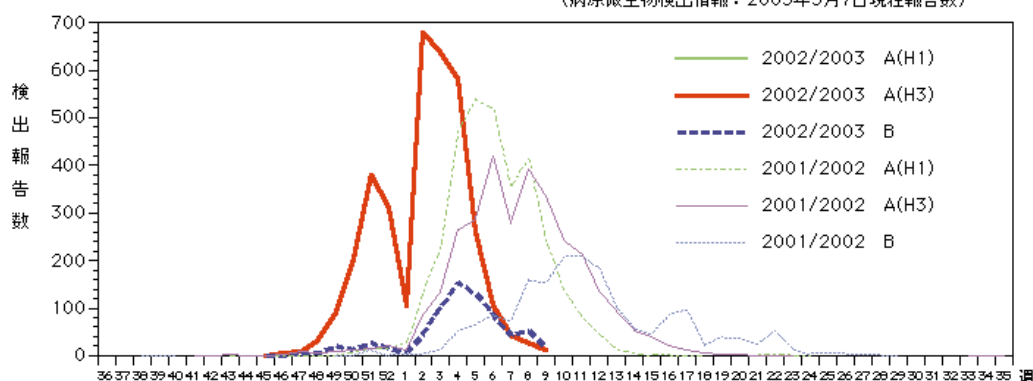
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年3月7日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは2003年第2～4週を中心に多くの報告があり、以後減少している。これまでに計3,479件(PCRのみの検出26件を含む)報告され、このうちN型別された226件はすべてN2であった。B型ウイルスは第2週より増加し始め、第6週以降はAH3型ウイルスとほぼ同じ報告数で推移している。これまでに計722件(PCRのみの検出6件を含む)報告されている。AH1型ウイルスの報告はまだない。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年3月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

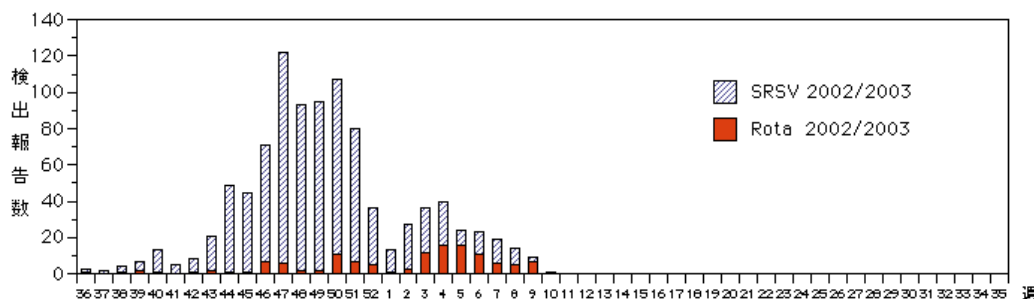


Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)は2002年第44～51週にかけて報告が増加し、2003年の年明け以降は減少している。検出報告は計839件で、内訳はノーウォーク様ウイルス(NLV) genogroup II が599件(愛媛県101、岩手県63、滋賀県41など)と大部分を占め、その他NLV genogroup I が22件(広島市5、熊本県4など)、NLV genogroup不明が198件(山形県142など)、サッポロ様ウイルス(SLV)が5件(島根県3など)、電顕による検出が15件(栃木県、岡山県各4など)である。ロタウイルスは2003年第3週以降報告が増加し始め、その占める割合が大きくなっている。これまでA群が118件(岩手県19、東京都16、大阪市12など)、C群が2件(岩手県2)、群不明(電顕による検出)が7件(愛媛県7)報告されている。

週別 SRSV & ロタウイルスの検出報告数、2002/2003シーズン(病原微生物検出情報: 2003年3月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



インフルエンザ様患者からのHuman metapneumovirus の分離 - 宮城県

宮城県内の感染症発生動向調査病原体定点医療機関において2003年1月上旬にインフルエンザ様患者から採取した咽頭ぬぐい液より、Human metapneumovirus (hMPV) を分離・同定したので、その概要を報告する。

患者は6歳10カ月児で、2003年1月4日に発病し、6日に受診した。主症状は発熱(40℃)、咳、鼻汁、咽頭発赤で、インフルエンザを疑い迅速診断キットによる検査を行ったが、A型およびB型ともに陰性であったため、インフルエンザ様患者として咽頭ぬぐい液を採取した。当センターではインフルエンザを含めた呼吸器系ウイルスについて、MDCK、HEp-2、LLC-MK2、RD-18S、Vero、およびHMV-II細胞を用いて分離培養を実施した。培養初代は6種の細胞でCPEが観察されなかったため、盲継代を行ったところ、2代目のLLC-MK2細胞にCPEが出現し、CPEはLLC-MK2の3代目以降も継続して確認されている。県内においては2002年末より、パラインフルエンザウイルスやRSウイルスが検出されていたことから、CPEの形態は異なるものの、これらのウイルスを疑いHA試験、HAD試験あるいはRS診断用EIAキット(ディレクトイジェンRS)を使用し同定を行ったが、いずれも確定されず、呼吸器感染症の原因となる他の病原体が考えられた。

そこで、鈴木ら¹⁾がhMPVのnucleocapsidコード領域を増幅するプライマーを独自に設計して、臨床検体から同ウイルスの遺伝子検出ならびに分離培養を行っていたことから、このプライマーを用いてRT-PCRを実施した結果、271bpに特異的なバンドが検出された。さらに確認のため、Peretら²⁾が報告しているnucleocapsidコード領域およびfusion proteinコード領域の一部を増幅するプライマーを用い、再度RT-PCRを実施した結果、それぞれ377bp、450bpの特異的な増幅産物が得られた。さらに、この増幅産物についてダイレクトシーケンスを行い、塩基配列およびアミノ酸配列についてホモロジー検索により解析を進めたところ、Peretらが分離したウイルス株とnucleocapsidコード領域の塩基配列で98%、アミノ酸配列で100%、fusion proteinコード領域でそれぞれ97%および100%一致し、今回LLC-MK2細胞で分離された病原体をhMPVと同定した。

hMPVは、2001年にオランダのvan den Hoogenら³⁾が小児の気管支炎患者検体から初めて分離・同定し、臨床症状からはRSウイルスによる呼吸器疾患との鑑別が困難であるとした。その後2002年に、オーストラリア、カナダにおいてウイルスを分離した報告^{4,5)}がある。日本においては、抗体測定を行った海老原らの報告⁶⁾によれば、無作為に収集した血清のhMPV-IgG抗体陽性率は73%であったこと、また、鈴木ら¹⁾はRS様患者でウイルス分離陰性検体の6%にhMPV遺伝子を検出していることから、hMPVの広範な侵淫が明らかにされているが、今のところウイルス分離の報告は見当たらない。

今回著者らは、感染症発生動向調査において一般的にみられるインフルエンザ様患者の咽頭ぬぐい液から、日本において初めてhMPVを分離した。本ウイルスと病態との関連については検討の余地が残されているが、日本におけるhMPVによる感染症の実態を把握するためにも、hMPVに着目した監視体制が必要と考えられる。

【参考文献】

- 1)日本感染症学雑誌(投稿中)
- 2)J. Infect. Dis. 186: 133-134, 2002
- 3)Nat. Med. 7(6): 719-724, 2001
- 4)Med. J. Aust. 176(4): 188-189, 2002
- 5)J. Infect. Dis. 185: 1660-1663, 2002
- 6)第34回 日本小児感染症学会抄録; C26: 114, 2002

宮城県保健環境センター・微生物部
後藤郁男 山木紀彦 植木 洋
佐藤千鶴子 渡邊 節 秋山和夫
国立仙台病院ウイルスセンター
鈴木 陽 西村秀一
大友病院ヒロミ小児科
大友弘美

ハノイ・香港等における病院内での原因不明の重症呼吸器疾患

健感発第0312002号
平成15年3月12日

（ 都道府県
政令市
特別区 ）衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

ハノイ・香港等における病院内での原因不明の重症呼吸器疾患の 集団発生に関するWHOの緊急情報について

標記について、WHO本部が別添の緊急情報を発表しました(日本時間3月12日夜)ので、管内の医療機関、医師会等の関係機関に周知方お願いします。

またWHOでは、本通知発出時には本疾患の定義等を示しておらず、当課においては、WHO等からの一層の情報収集に努めていますが、別添のWHOの情報では、2月中旬以降、ベトナム、香港、中国広東省で重症の呼吸器疾患の集団発生があったとされていることから、当面貴管内の医療機関において、2月中旬以降同地域からの帰国者に原因不明の重症の肺炎患者発生があった場合には、その旨当課あて報告いただくようお願いします。

(仮訳)

原因不明の肺炎に関するWHOの緊急情報 医療従事者における重症肺炎のまん延

2月中旬以来、WHOはベトナム、香港及び中国広東省における重症肺炎の集団発生報告の確認作業を積極的に進めているところである。

ベトナムの集団発生は原因不明の重症急性呼吸器症状の治療で入院した1名の患者から始まった。患者は旅行中に具合が悪くなり、上海、香港からハノイに到着後まもなく発病した。病院に入院後、約20名の病院スタッフが同様の症状を呈するに至った。

ハノイにおけるこの病気の自覚症状はインフルエンザの初期症状(急激な発熱とそれに続く筋肉痛、頭痛、咽頭痛)を含んでいる。これらが最も共通した症状である。初期の検査所見には血小板減少症(血小板の減少)と白血球減少症(白血球の減少)が含まれることがある。全てではないが、何人かの患者では両肺野にまたがる肺炎を呈するようになったり、人工呼吸器による呼吸管理が必要となる急性呼吸不全に至っている例もある。回復しつつある患者もいれば、依然として重態の患者もいる。

本日、香港保健省では1つの公立病院における呼吸器疾患の集団発生を報告した。3月11日深夜現在、50名の医療従事者に検診が行われ、このうち23名に発熱性疾患が認められた。予防的措置として、これらの医療従事者は経過観察のため同病院に入院している。これらのうち、8名が胸部レントゲンで肺炎の初期所見を呈している。これらの患者の状態は安定している。他の3名の医療従事者は発熱性疾患で自ら病院を受診した。このうち2名が胸部レントゲンで肺炎の所見を呈している。

香港政府公衆衛生当局による調査が進行中である。病院当局では、院内におけるこの疾病のまん延を防止するため、感染防止対策に力を入れている。これまでのところ、これらの症例とハノイにおける集団感染との関係は認められていない。

2月中旬、中国政府は、広東省において5名の死亡例を含む、305名の原因不明の肺炎の発生を報告している。亡くなった2名においてクラミジア感染が認められた。この集団感染の原因究明のさらなる調査は、進行中である。全体としてハノイと香港における集団感染は、病院内に限られているようにみられる。最も危険の高いのは、これらの患者の治療に携わったスタッフと思われる。

これまでのところハノイと香港の急性呼吸器疾患のこれらの集団感染と2月19日に報告された香港におけるトリインフルエンザA(H5N1)の集団感染との関係については認められていない。さらなる調査が続けられており、ベトナムと香港からの検体の検査が日本と米国のWHO協力センターで行なわれている。

これらの集団感染の原因についてより詳細が明らかになるまでWHOは、これらの集団感染に関連すると思われる原因不明肺炎の患者は、バリアナーシング手技による隔離を勧める。同時にWHOは疑わしい症例について国の保健当局に報告することを勧めている。

WHOでは、関係各国と連携を密にし、疫学、検査ならびに臨床体制の支援も申し出ている。WHOでは、各国当局とともにこれらの集団感染の調査、報告、封じ込めが適切に実施されるよう努めている。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

コンゴ共和国でのエボラ出血熱流行 - 更新7

WHO/CSR 2003年3月7日

2003年3月7日現在、Cuvette Ouest地域のMbomo地域とKellé地域でエボラ出血熱により、累計で89名の死亡者を含む5名の確定患者と、105名の疑い患者が報告された(既報参照)。

保健省、WHO、および国際チームはエボラ治療のための医療従事者の訓練を継続し、接触者追跡調査を行い、医療器具を供給している。

流行封じ込めを行っている世界アウトブレイク監視対応ネットワークの専門家は、ドイツ・ハンブルグのBernhard Nocht研究所、米国・アトランタのCDC、ベルギー・アントワープの熱帯医学研究所、英国・ロンドンのロンドン衛生熱帯医学校から成る。同国赤十字社は、コミュニティーでのエボラの認識と理解を改善するための社会的動員活動を支援している。

ブルキナファソでの髄膜炎菌性疾患流行 - 更新3

WHO/CSR 2003年3月7日

3月6日現在ブルキナファソ保健省は、2003年1月以来、累計で死亡者542名を含む3,691名の患者を報告した。ブルキナファソの53地域中、Batie, Bogande, Manga, Po, Zabreの5地域で流行閾値に達し、Boulsa, Bousse, Dande, Leo, Nanoro, Sapone, Secteur 30 de Ouagadougou, Zorghoの8地域が警戒レベルにある。

MangaとBogandeで集団予防接種キャンペーンが行われている。保健省とWHOのチームが、流行閾値に達した地域の評価と、これらの地域での流行封じ込めのための活動計画の構築を行ってきた。これらの地域で得られた検体からの検査により、*Neisseria meningitidis*血清型A群とW135群が確認された。

オーストラリア・ケアンズでのデング熱

Eurosurveillance weekly 2003年3月6日

英国ロンドン公衆衛生検査サービス感染症サーベイランスセンターJoanne Lawrence医師の報告。

オーストラリアのケアンズで、この地域で感染したと思われるデング熱患者が3名確定診断された。1名でデングウイルス血清型2型が確認されている(Queensland州保健省熱帯公衆衛生学部門科学技官Brian Montgomeryからの私信、2003年3月5日)。

3名の患者はいずれもケアンズ在住の住民で、2003年2月中旬に発症した。1名は感染推定時期にケアンズから約40km西方のMareealに行っている。初めの感染症例は同定されていないが、ケアンズとMareealにはより多くの感染者があると考えられる。デング熱対策チーム(DART)が、北部Queensland2000～2005年度デング熱管理計画に定められたプロトコルに並行して、強力な蚊のサーベイランスと駆除を実行している。

デング熱はQueensland州に土着していないが、媒介するネッタイシマカ*Aedes aegypti* は北部Queensland州で普通に見られる。アジアや南太平洋から帰国した海外旅行者や住民からウイルスが移入され、散発的な流行が起こっている。1992年以降、北部Queensland州では3つの大きな流行があり、いずれも輸入例から起こった; Townsville(1992～93年)で感染者900名、Torres Straightとケアンズ(1996～97年)で感染者208名、Port Douglas(2000年)で感染者498名である。

デング熱の予防は蚊刺咬の予防に重点がおかれる。ヨーロッパからQueensland州を訪れる旅

行者には、ジエチルトルアミドDEETを含有する適切な昆虫忌避剤の使用と、刺される部位を局限させるために長袖長ズボンの着用を勧める。ネッタイシマカ *Aedes aegypti* は日中と明け明け方と夕方頃に吸血し、屋外でも屋内でも見られる。屋内での蚊の予防には、殺虫剤の噴霧やピレスロイド系の電気式蚊取器の使用が有効である。冷房も蚊の活動性を弱めるのに有効である。殺虫剤をしみこませた蚊帳の中で寝ることで、夕方以降の蚊刺咬の可能性を最小限にできる。

オーストラリアを旅行する全ての旅行者は、蚊が媒介する他の病気、Ross RiverウイルスやBarmah Forestウイルス、Kunjinウイルス、あるいはMurray Valley脳炎などから自身を守るために、蚊の刺咬を防ぐ手段を講じるべきである。

英国での変異型CJD発病率の減少

Eurosurveillance weekly 2003年3月6日

英国ロンドン公衆衛生検査感染症サーベイランスセンター

2002年12月末までに、変異型CJDの確定あるいは疑い患者数は合計129名になった。変異型CJD発病率の傾向に関する四半期解析が行われた。

以前の四半期解析では、発病率の指数関数的上昇傾向が示された。今回の解析では、これまでのパターンからの脱却を示す重大な証拠が得られた；発病率は2000年にピークに達し、四半期当たり15名の死亡者数と発症者数を示し、その後減少し、2002年末には四半期当たり死亡者数3.9人(発症者数3.2人)に減少した。

表．発症者数と死亡者数

年	94	95	96	97	98	99	00	01	02	計
発症者数	8	10	11	14	17	29	24	16*	0*	129
死亡者数	0	3	10	10	18	15	28	20	17	121

* 報告の遅れのため、次の四半期に患者数が増える可能性あり。



感染症の話

マイコプラズマ肺炎(*Mycoplasma pneumoniae*)

以前には、定型的な細菌性肺炎と違って重症感が少なく、胸部レ線像も異なる故に「異型肺炎」に分類されてきた肺炎群があり、その後、マイコプラズマ肺炎は「異型肺炎」の多くを占めるものであることが解った。近年「異型肺炎」の病名は使われなくなる傾向にある。

疫学

旧感染症発生動向調査では「異型肺炎」の発生動向調査が行われていたが、これにはマイコプラズマ肺炎以外にも、クラミジア肺炎やウイルス性肺炎などの疾患が含まれていた。1999年4月施行の感染症法により、マイコプラズマ肺炎として疾患特異的な発生動向調査を行う目的から、病原体診断を含んだ発生動向調査が行われることになった。

本疾患は通常通年性にみられ、普遍的な疾患であると考えられている。欧米において行われた罹患率調査のデータからは、報告によって差はあるものの、一般に年間で感受性人口の5～10%が罹患すると報告されている。本邦での感染症発生動向調査からは、晩秋から早春にかけて報告数が多くなり、罹患年齢は幼児期、学童期、青年期が中心である。病原体分離例でみると7～8歳にピークがある。本邦では従来4年周期でオリンピックのある年に流行を繰り返してきたが、近年この傾向は崩れつつあり、1984年と1988年に大きな流行があって以降は大きな全国流行はない。

病原体

病原体は肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)であるが、これは自己増殖可能な最小の微生物で、生物学的には細菌に分類される。他の細菌と異なり細胞壁を持たないので、多形態性を示し、ペニシリン、セフェムなどの細胞壁合成阻害の抗菌薬には感受性がない。専用のマイコプラズマ培地上にて増殖可能であるが、日数がかか(2～4週間) 操作もやや煩雑で、雑菌増殖による検査不能例も発生する。肺炎マイコプラズマは熱に弱く、界面活性剤によっても失活する。

感染様式は感染患者からの飛沫感染と接触感染によるが、濃厚接触が必要と考えられており、地域での感染拡大の速度は遅い。感染の拡大は通常閉鎖集団などではみられるが、学校などでの短時間での暴露による感染拡大の可能性は高くなく、友人間での濃厚接触によるものが重要とされている。病原体は侵入後、粘膜表面の細胞外で増殖を開始し、上気道、あるいは気管、気管支、細気管支、肺胞などの下気道の粘膜上皮を破壊する。特に気管支、細気管支の繊毛上皮の破壊が顕著で、粘膜の剥離、潰瘍を形成する。気道粘液への病原体の排出は初発症状発現前2～8日で見られるとされ、臨床症状発現時にピークとなり、高いレベルが約1週間続いたあと、4～6週間以上排出が続く。

感染により特異抗体が産生されるが、生涯続くものではなく徐々に減衰していくが、その期間は様々であり、再感染もよく見られる。

臨床症状

潜伏期は通常2～3週間で、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などである。咳は初発症状出現後3～5日から始まる事が多く、当初は乾性の咳であるが、経過に従い咳は徐々に強くなり、解熱後も長く続く(3～4週間)。特に年長児や青年では、後期には湿性の咳となることが多い。鼻炎症状は本疾患では典型的ではないが、幼児ではより頻繁に見られる。嘔声、耳痛、咽頭痛、消化器症状、そして胸痛は約25%で見られ、また、皮疹は報告により差があるが6～17%である。喘息様気管支炎を呈することは比較的多く、急性期には40%で喘鳴が認められ、また、3年後に肺機能を評価したところ、対照に比して有意に低下していたという報告もある。昔から「異型肺炎」として、肺炎にしては元気で一般状態も悪くないことが特徴であるとされてきたが、重症肺炎となることもあり、胸水貯留は珍しいものではない。

他に合併症としては、中耳炎、無菌性髄膜炎、脳炎、肝炎、膵炎、溶血性貧血、心筋炎、関節炎、ギラン・バレー症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群など多彩なものが含まれる。

理学的所見では聴診上乾性ラ音が多い。まれに、胸部レ線異常陰影があっても聴診上異常を認めない症例があり、胸部レ線検査が欠かせない。胸部レ線所見ではびまん性のスリガラス様間質性陰影が特徴とされてきたが、実際には多いものではなく、むしろウイルス性、真菌性、クラミジア性のものに多いと報告されている。マイコプラズマ肺炎確定例では、大葉性肺炎像、肺胞性陰影、間質性陰影、これらの混在など、多様なパターンをとることが知られている。

血液検査所見では白血球数は正常もしくは増加し、赤沈は亢進、CRPは中等度以上の陽性を示し、AST、ALTの上昇を一過性にみとめることも多い。寒冷凝集反応は本疾患のほとんどで陽性に出るが、特異的なものではない。しかしながら、これが高ければマイコプラズマによる可能性が高いとされる。

病原診断

確定診断には、患者の咽頭拭い液、喀痰よりマイコプラズマを分離することであるが、適切な培地と経験があれば難しいことではない。しかしながら早くても1週間程度かかるため、通常の診断としては有用ではない。近年迅速診断としてPCR法が開発されており、臨床的に有用性が高いが、実施可能な施設は限られている。

臨床の現場では血清診断でなされることが多い。補体結合反応(CF)、間接赤血球凝集反応(IHA)にて、ペア血清で4倍以上の上昇を確認する。単一血清で診断するには、それぞれ64倍以上、320倍以上の抗体価が必要である。近年、粒子凝集法(PA)、蛍光抗体法(IF)あるいは酵素抗体法(ELISA)によるIgM、IgG抗体の検出も可能となっている。

治療・予防

抗菌薬による化学療法が基本であるが、ペニシリン系やセフェム系などのβ-ラクタム剤は効果がなく、マクロライド系やテトラサイクリン系、ニューキノロン系薬剤が用いられる。一般的には、マクロライド系のエリスロマイシン、クラリスロマイシンなどを第一選択とするが、学童期以降ではテトラサイクリン系のミノサイクリンも使用される。

特異的な予防方法はなく、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けることである。

感染症法における取り扱い

マイコプラズマ肺炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約500カ所の基幹定点医療機関から毎週報告がなされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出

例、気道から病原体が検出されたものなど

- ・病原体に対する抗体の検出

例、血清抗体の有意な上昇

血清抗体の異常高値(間接赤血球凝集反応(IHA)抗体価320～640倍以上、または補体結合反応(CF)抗体価64倍以上)など

学校保健法における取り扱い

本疾患は、学校において予防すべき伝染病の中には明確に規定されてなく、学校で流行がおこった場合にその流行を防ぐため、必要があれば、学校長が学校医の意見を聞き、第3種学校伝染病としての措置を講じることができる疾患のうち、条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる伝染病のひとつとして例示されている。登校登園については、急性期が過ぎて症状が改善し、全身状態の良いものは登校可能となっており、流行阻止の目的というより、患者本人の状態によって判断すべきであると考えられる。

【文 献】

- 1)Cherry JD. Mycoplasma and Ureaplasma infection. In Textbook of pediatric infectious diseases, 4th ed. WB Saunders,1998. pp2259-2286
- 2)Anonymous. マイコプラズマ肺炎. 病原微生物検出情報月報19巻2号、1998.

(国立感染症研究所感染症情報センター 谷口清州)



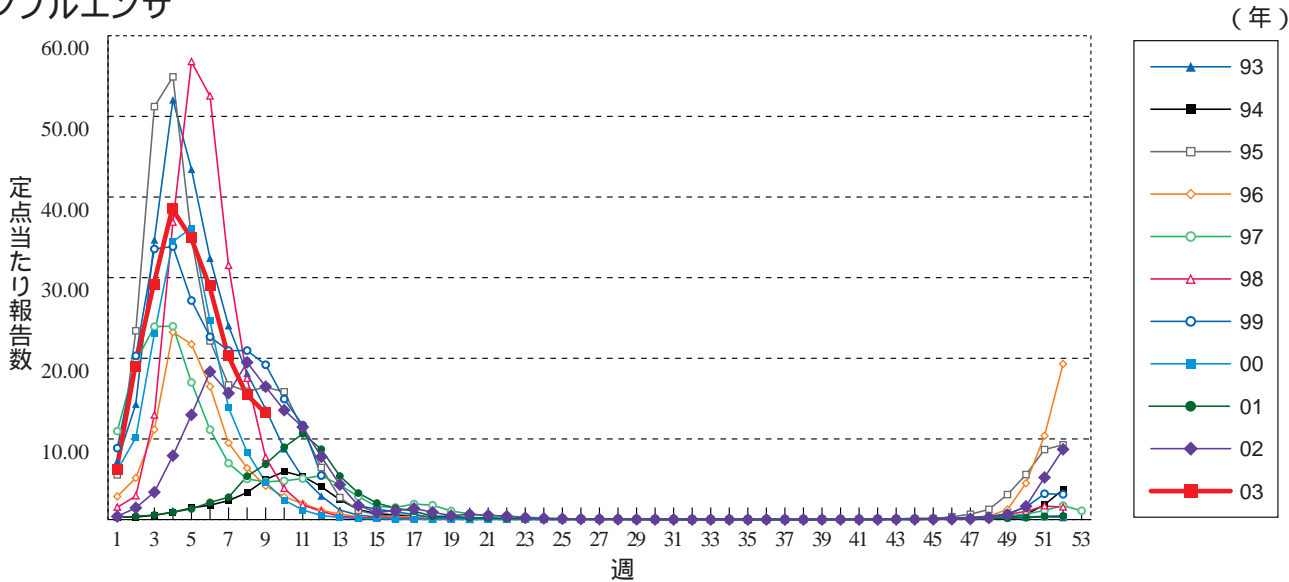
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

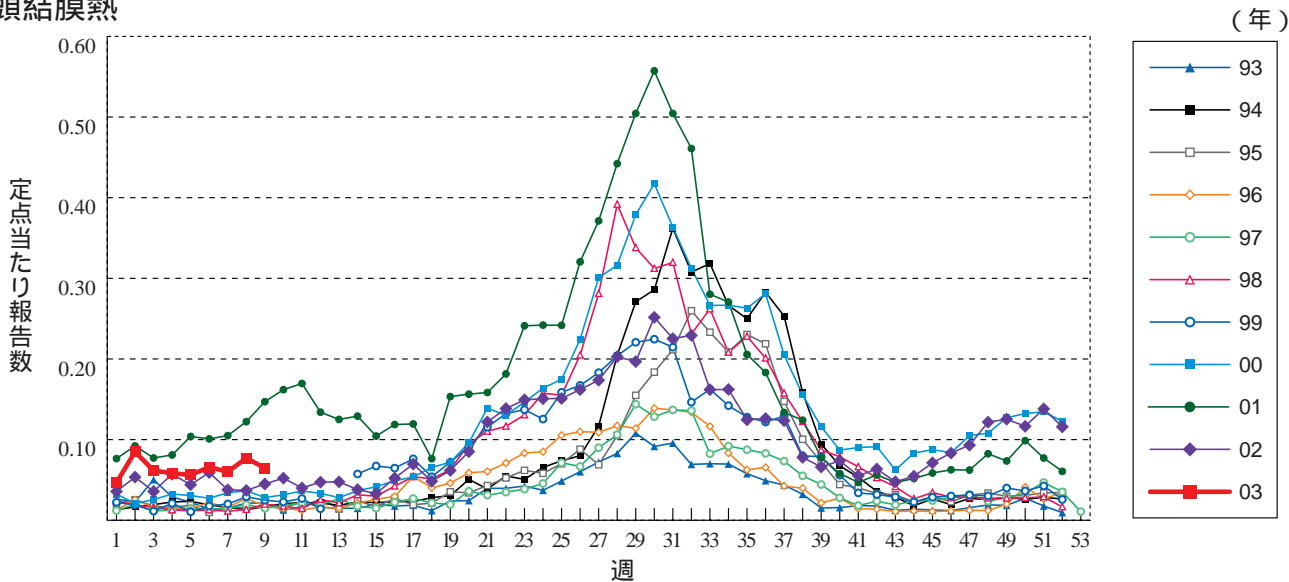
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(9週)

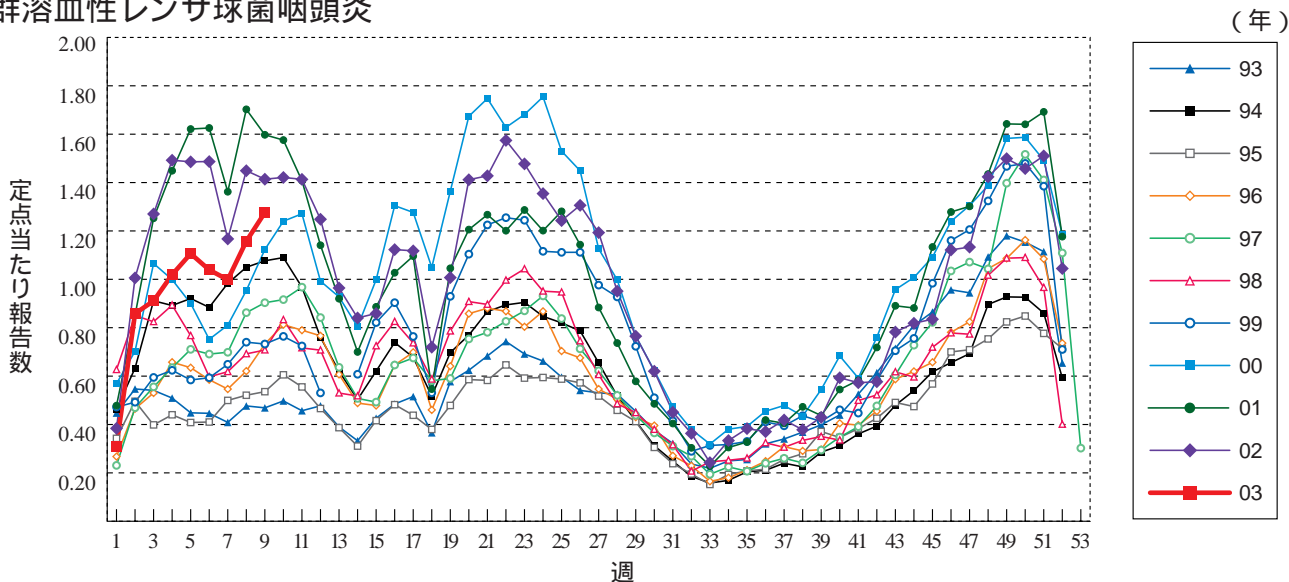
インフルエンザ



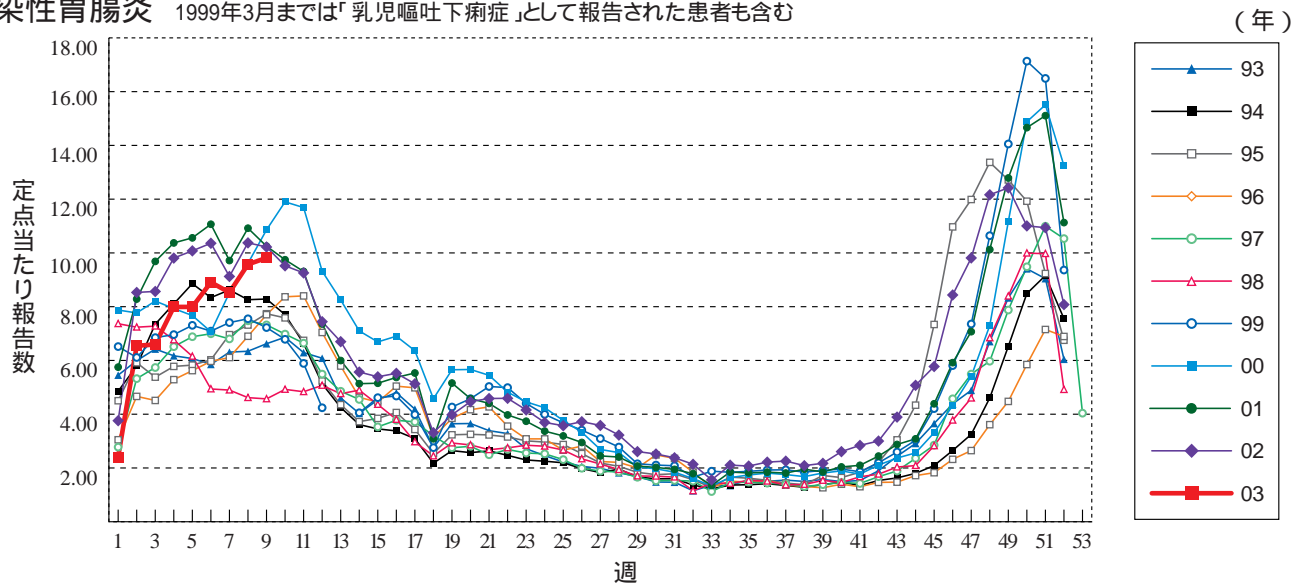
咽頭結膜熱



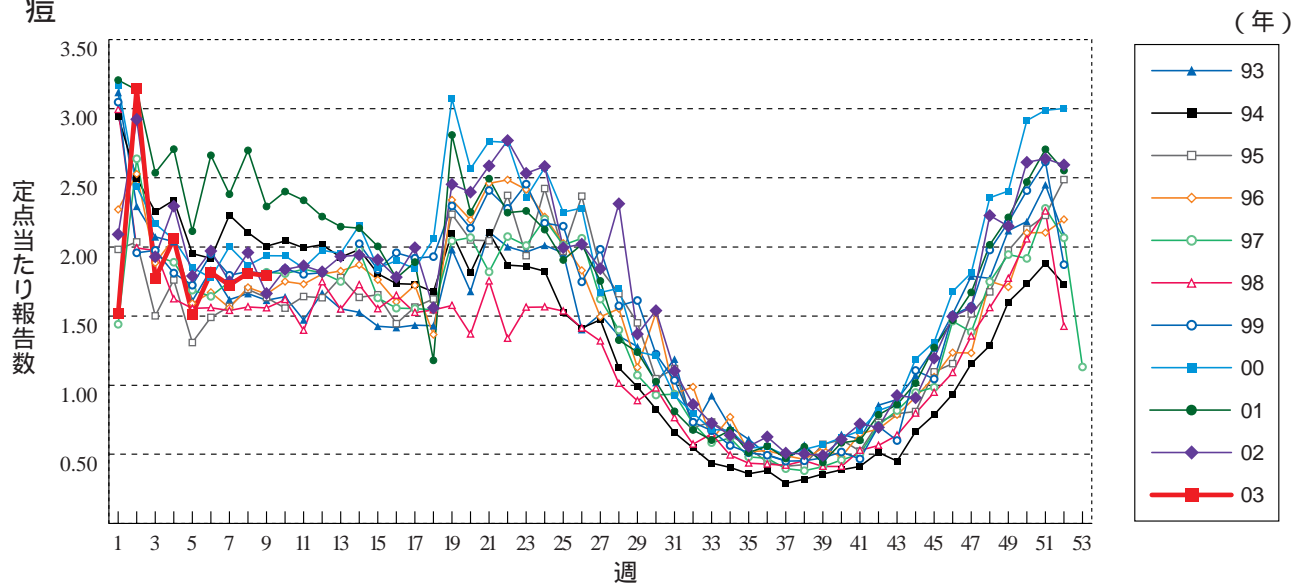
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



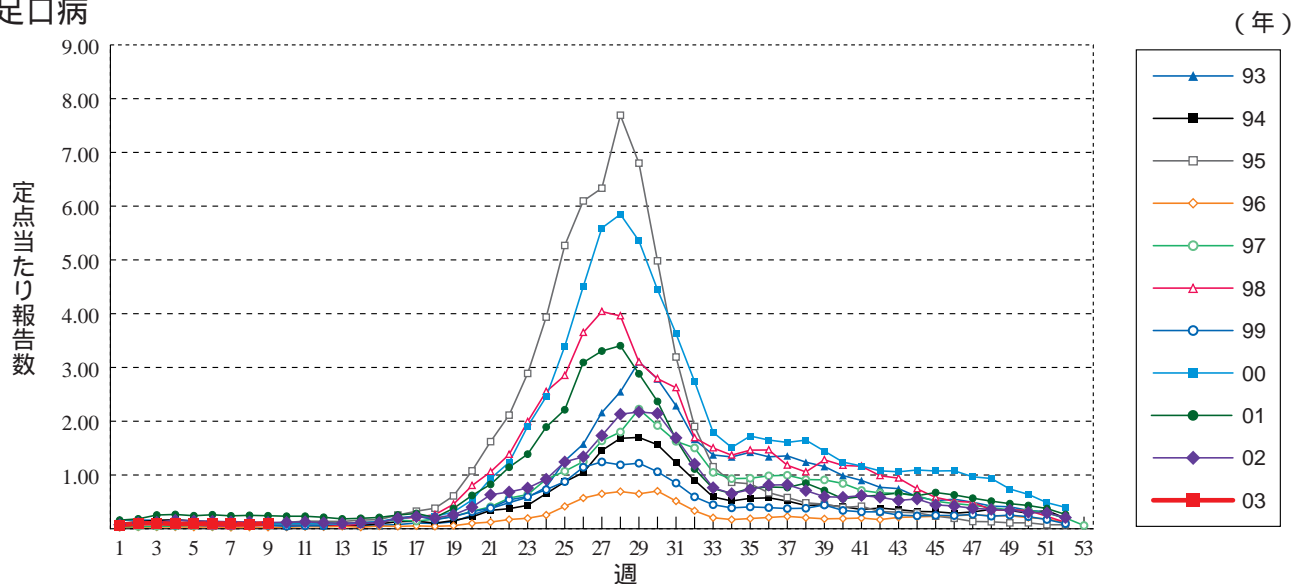
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



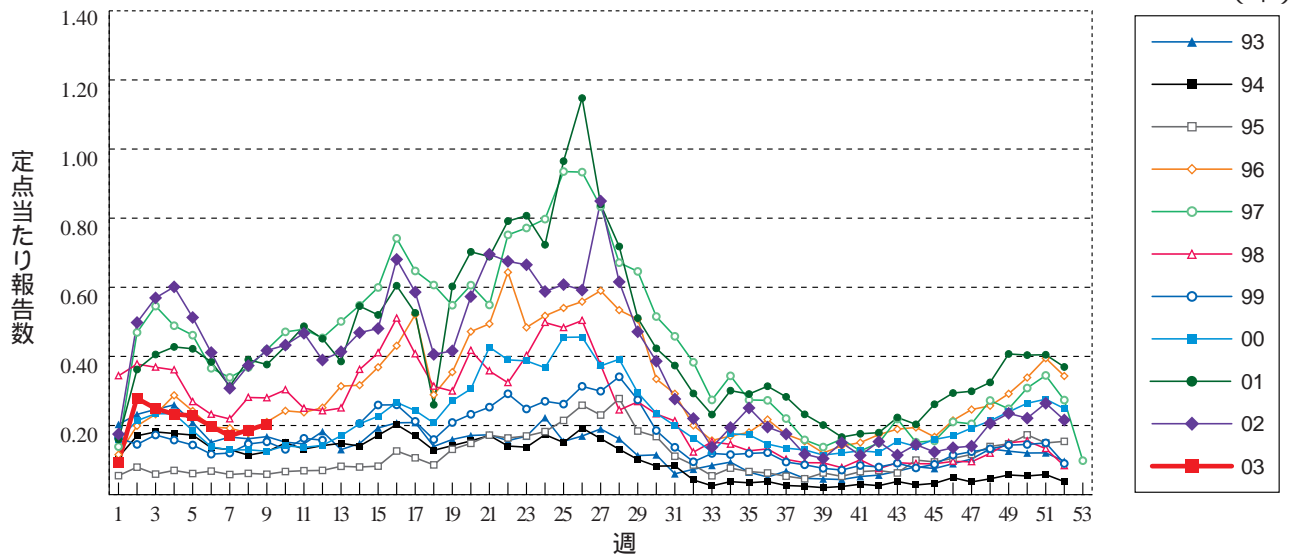
水痘



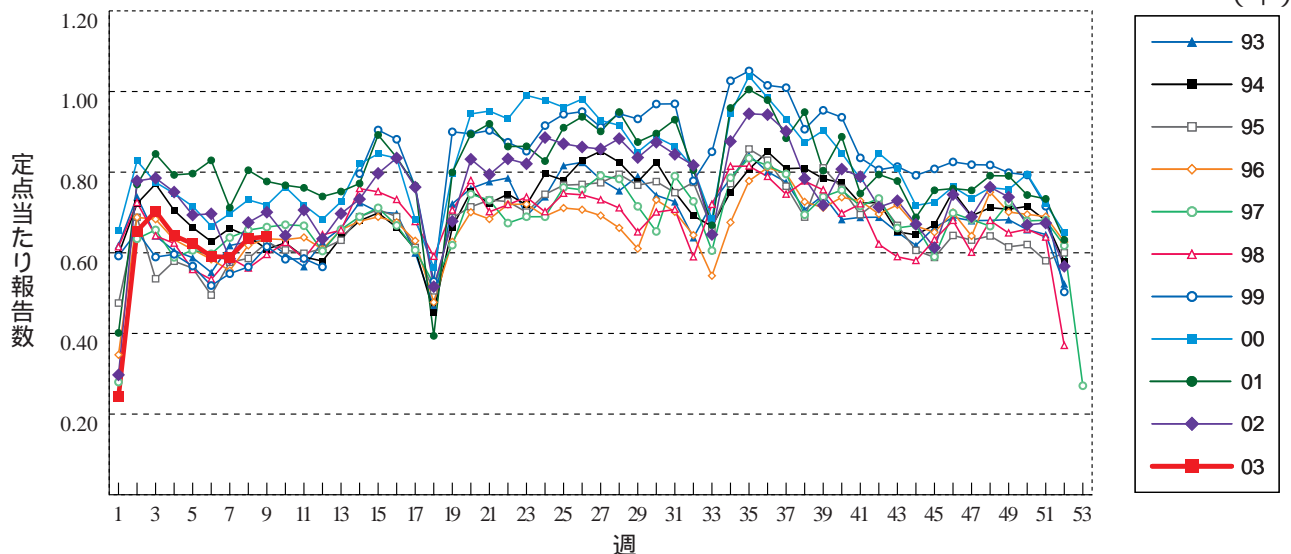
手足口病



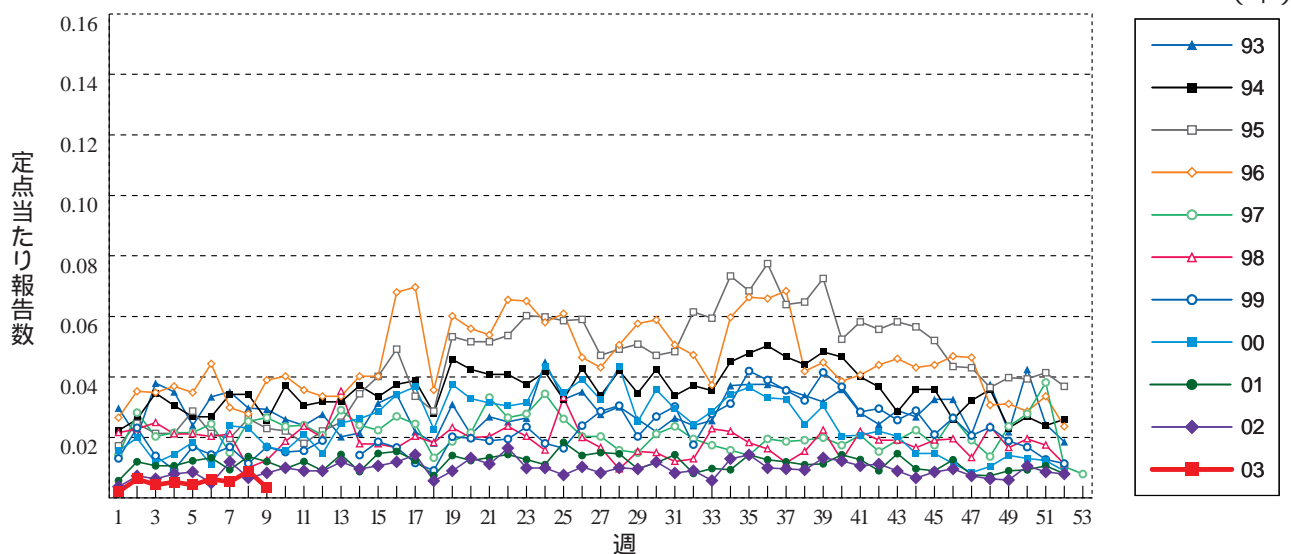
伝染性紅斑



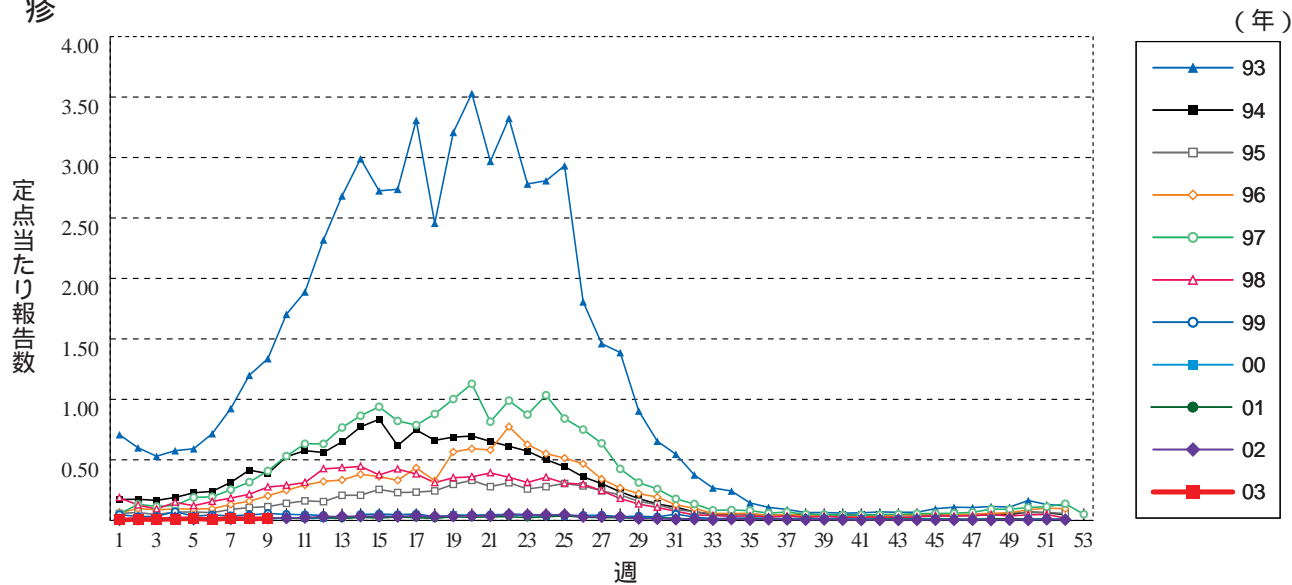
突発性発疹



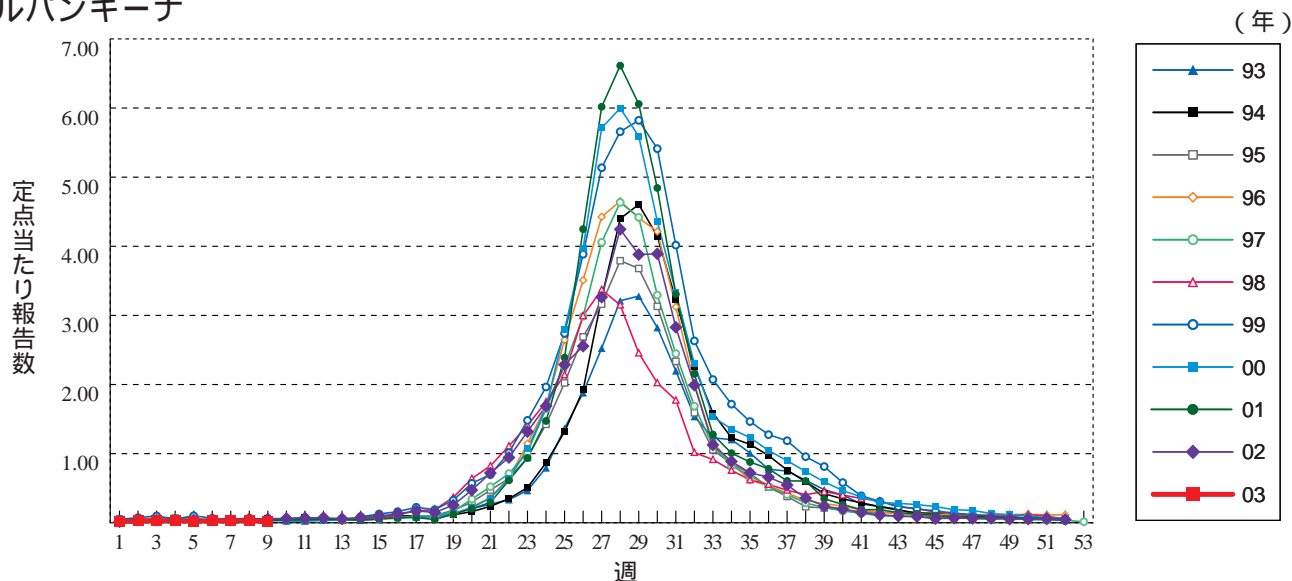
百日咳



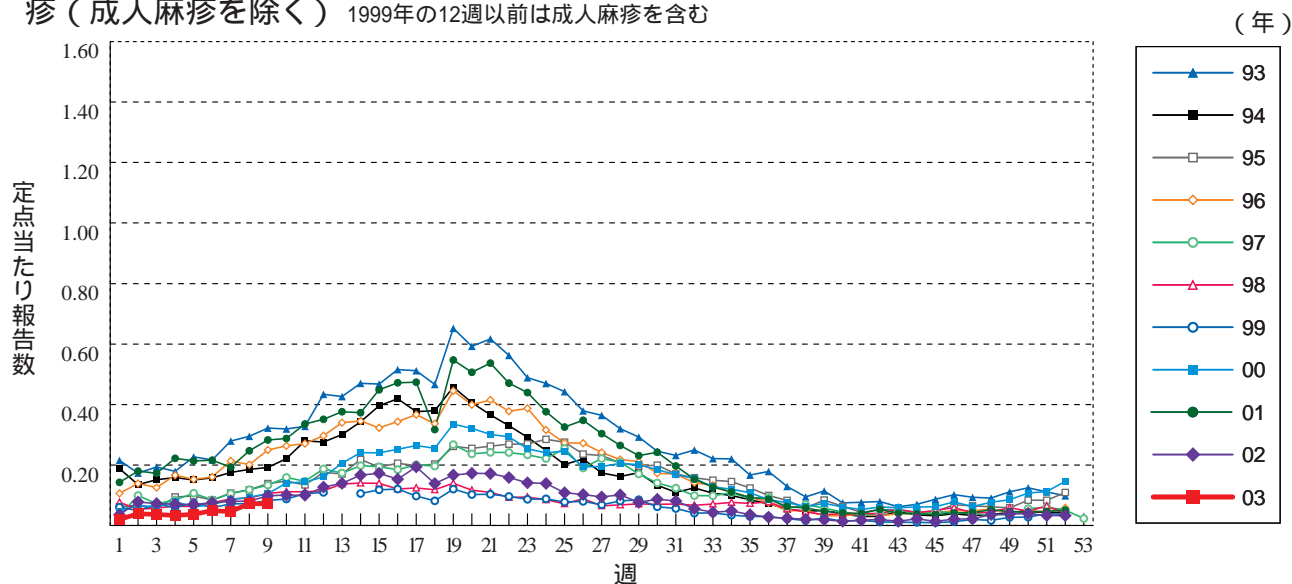
風 疹



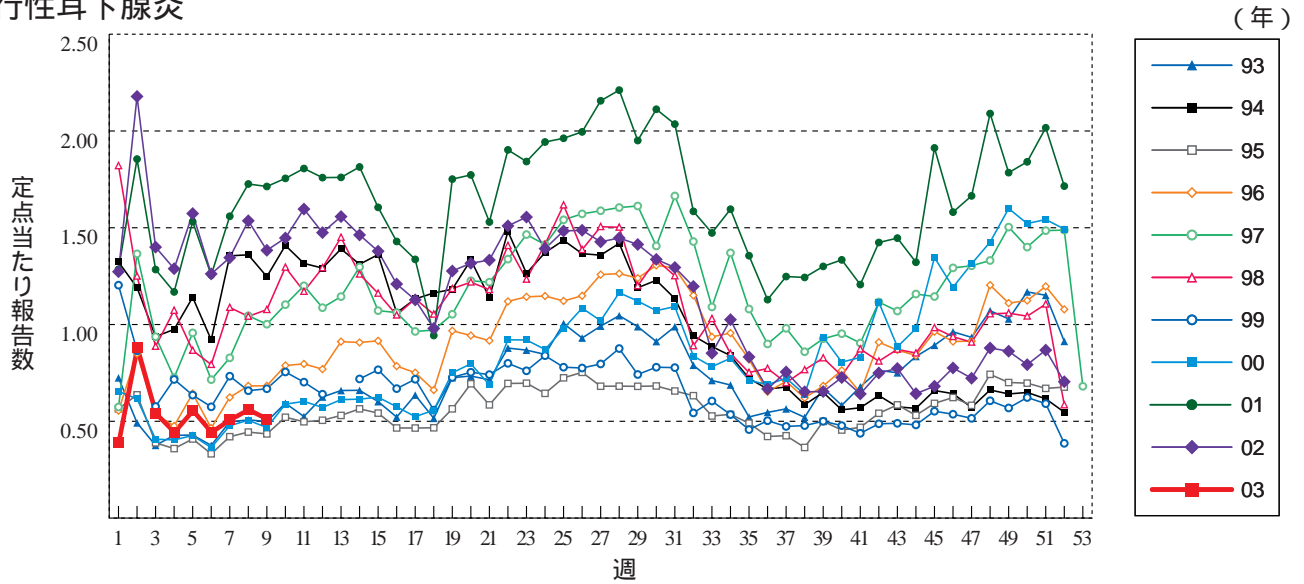
ヘルパンギーナ



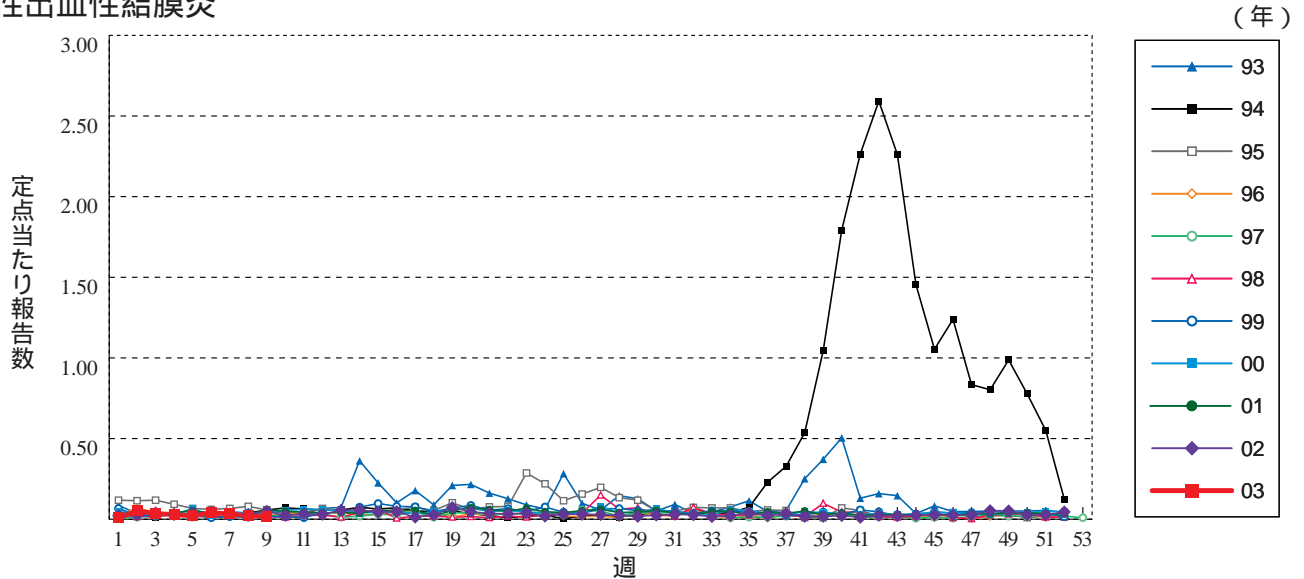
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



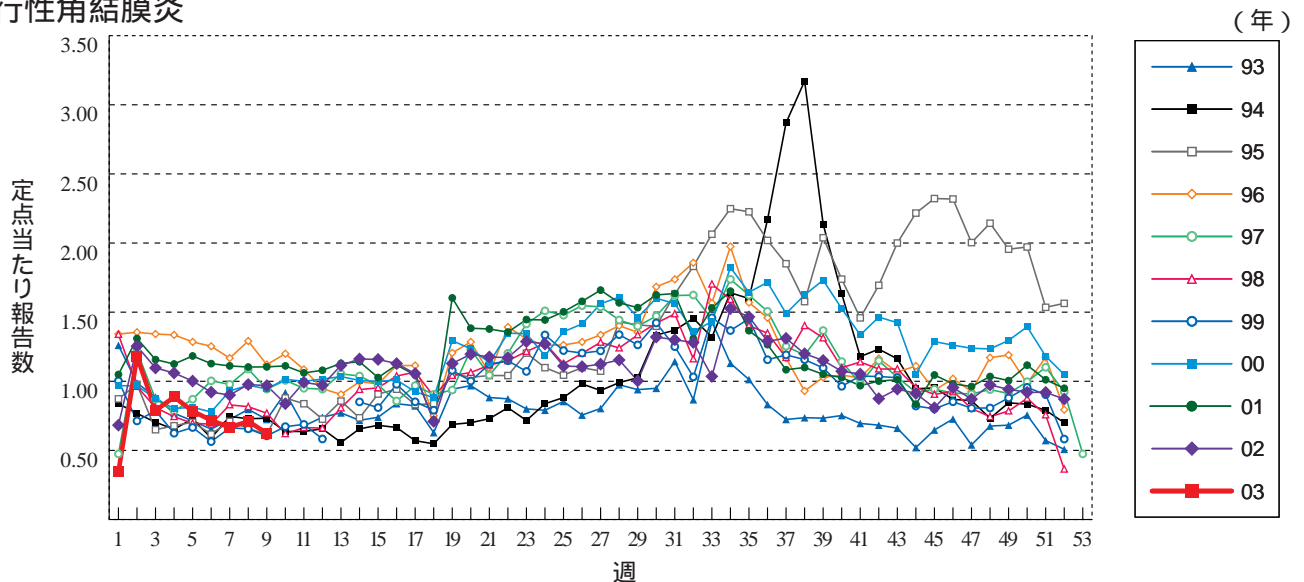
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

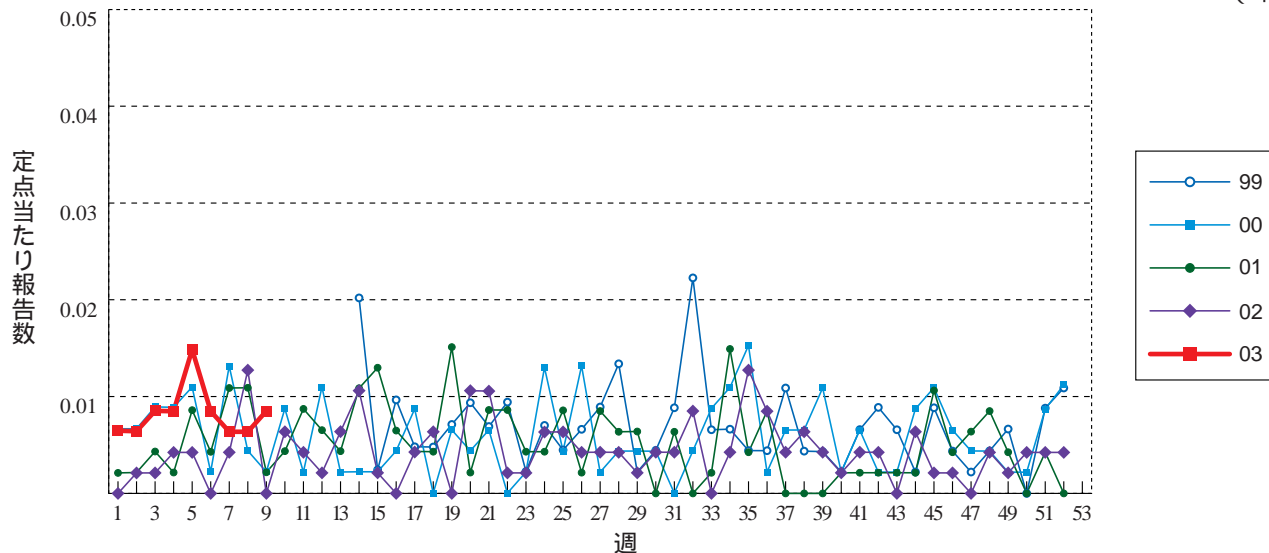


流行性角結膜炎



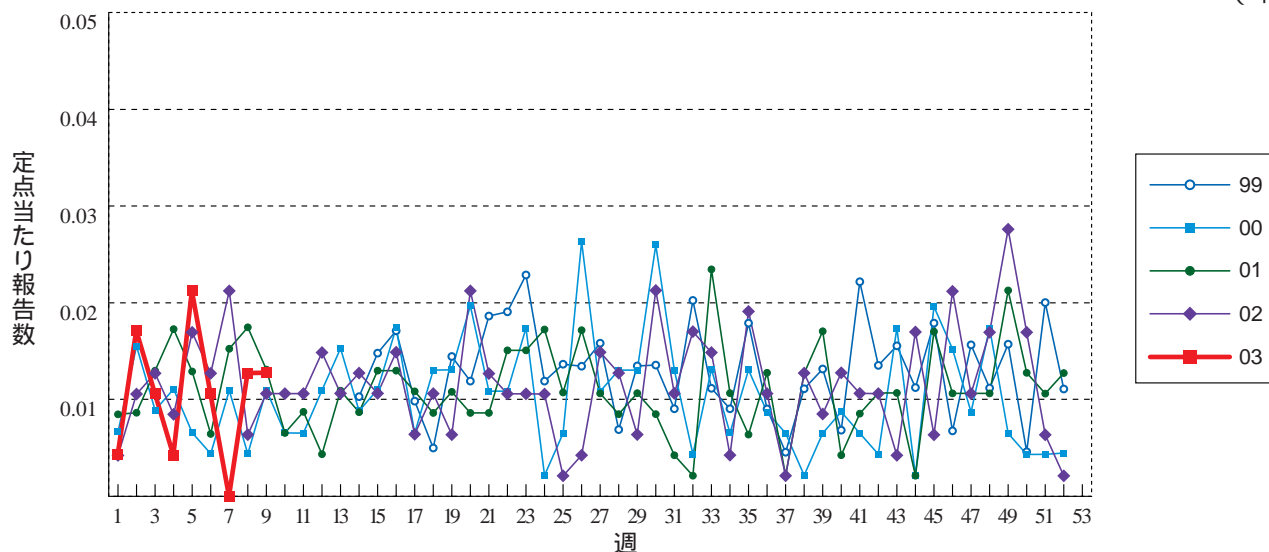
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



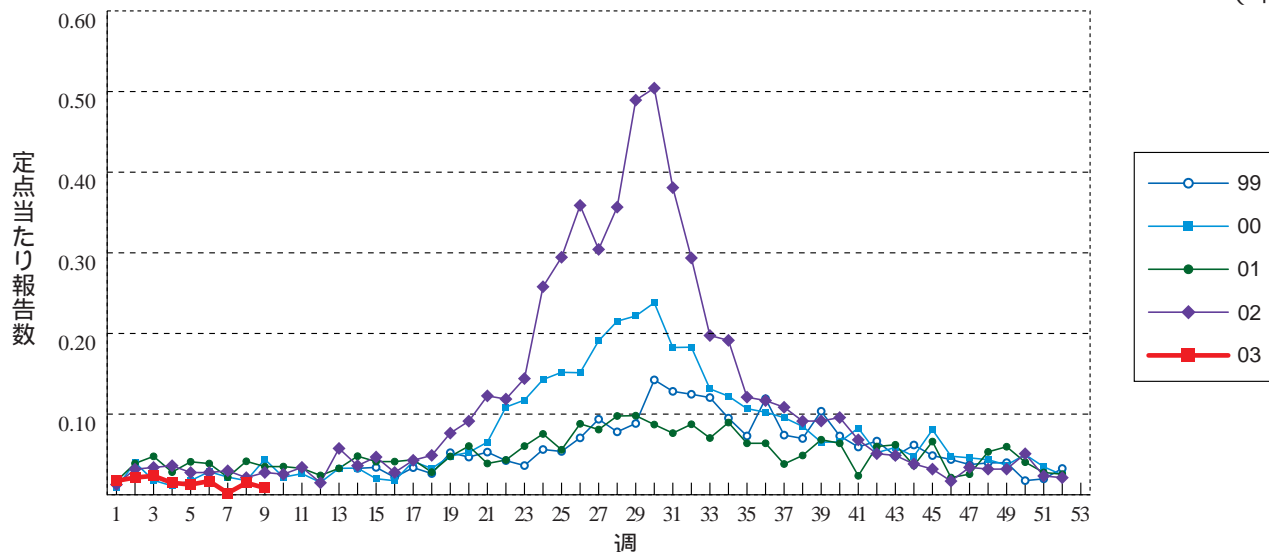
細菌性髄膜炎

(年)



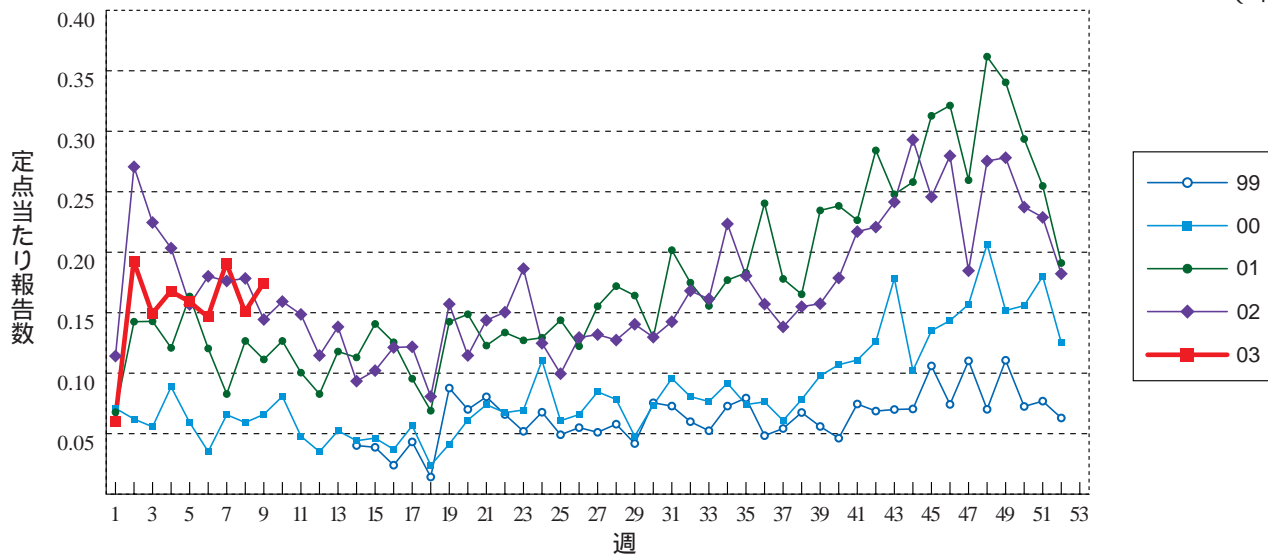
無菌性髄膜炎

(年)



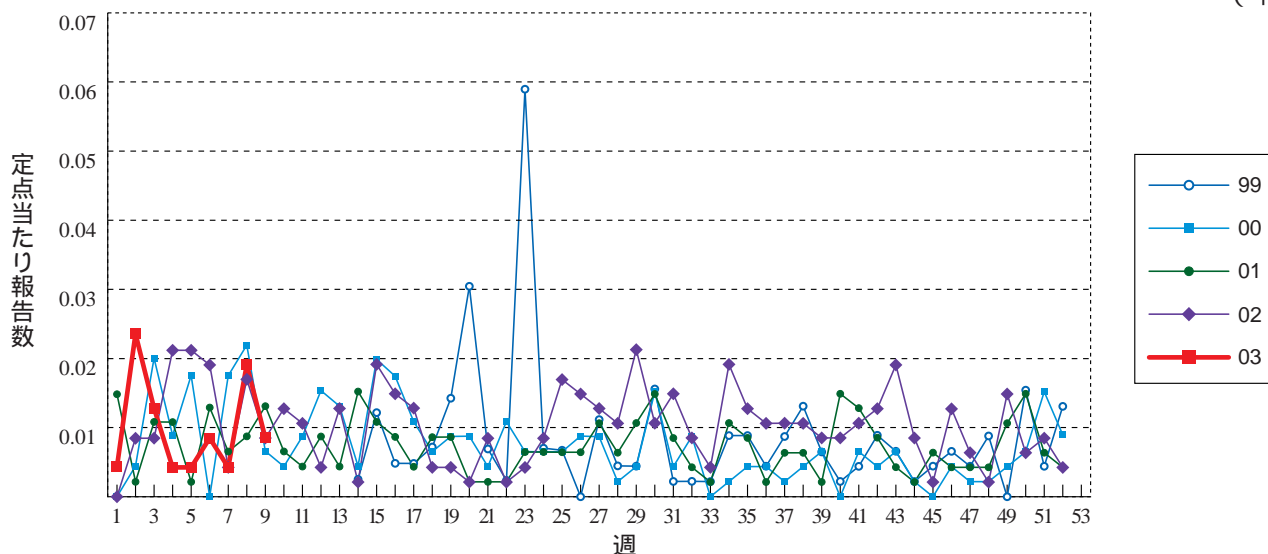
マイコプラズマ肺炎

(年)



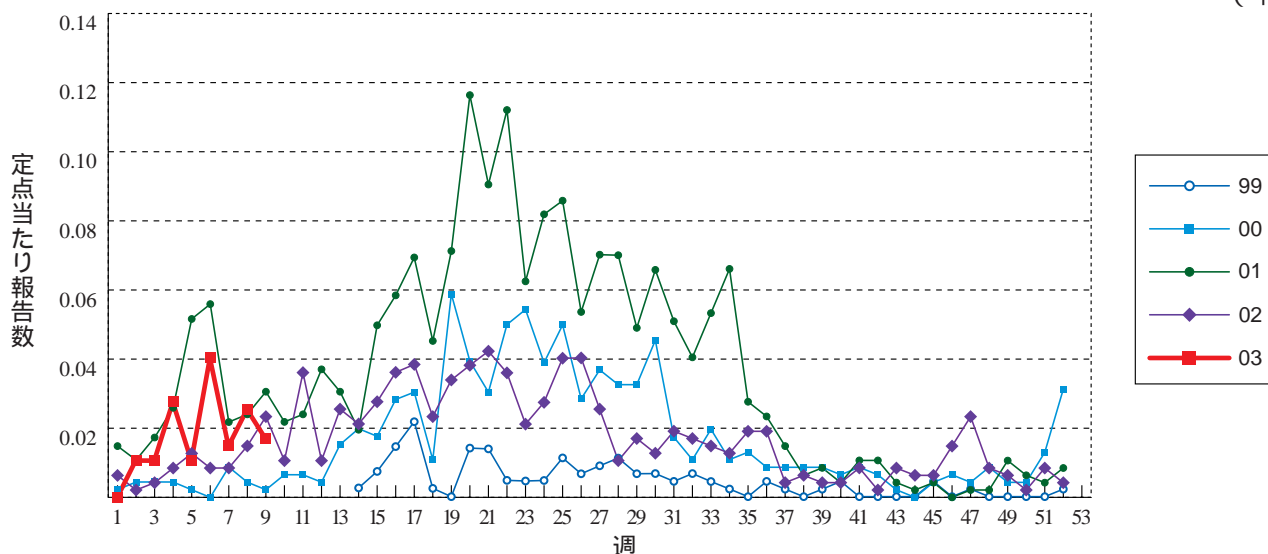
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





9週のデータ

注)表中の報告数は3月6日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年9週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	10	90	2	13	1	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	18	-	3	-	2	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	8	-	-	1	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	1	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年9週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	5	77	7	81	-	2	-	-	-	4	-	-	7	141
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
千葉県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	6	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
神奈川県	-	-	-	-	-	3	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
愛知県	-	-	-	-	1	5	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	3	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年9週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	-	21	1	17	9	128	-	-	1	10	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	7	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	45	-	-	1	4	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	10	-	-	-	2	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	3	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年9週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	4	-	-	-	-	1	21	-	2	-	-	-	-	-	-	7	74
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
大阪府	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年9週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	8	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	3	28	
北海道	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5	
神奈川県	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2	
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年9週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年9週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	62567	13.26	197	0.06	3884	1.28	29874	9.81	5451	1.79	317	0.10	619	0.20	1947	0.64	10	0.00
北海道	2819	12.26	9	0.06	308	2.12	476	3.28	196	1.35	7	0.05	86	0.59	72	0.50	-	-
青森県	1113	17.12	-	-	51	1.21	181	4.31	63	1.50	4	0.10	3	0.07	28	0.67	-	-
岩手県	1863	30.05	-	-	19	0.50	170	4.47	39	1.03	2	0.05	25	0.66	22	0.58	-	-
宮城県	1868	20.53	3	0.05	118	2.00	734	12.44	138	2.34	2	0.03	20	0.34	46	0.78	-	-
秋田県	1779	32.35	9	0.26	45	1.29	260	7.43	50	1.43	-	-	4	0.11	21	0.60	-	-
山形県	1478	30.79	-	-	75	2.50	311	10.37	38	1.27	27	0.90	16	0.53	23	0.77	-	-
福島県	1487	18.59	-	-	55	1.15	466	9.71	60	1.25	8	0.17	11	0.23	31	0.65	-	-
茨城県	1103	9.35	5	0.07	66	0.89	376	5.08	76	1.03	1	0.01	6	0.08	23	0.31	-	-
栃木県	892	12.74	-	-	49	1.07	278	6.04	45	0.98	-	-	4	0.09	16	0.35	-	-
群馬県	1049	10.49	2	0.03	69	1.11	447	7.21	86	1.39	4	0.06	27	0.44	39	0.63	-	-
埼玉県	2290	8.91	3	0.02	242	1.51	1670	10.44	252	1.58	16	0.10	10	0.06	118	0.74	-	-
千葉県	2842	13.60	6	0.05	288	2.20	1475	11.26	174	1.33	8	0.06	23	0.18	84	0.64	-	-
東京都	1155	6.49	7	0.05	61	0.43	869	6.12	122	0.86	1	0.01	11	0.08	46	0.32	-	-
神奈川県	3887	11.57	11	0.05	203	0.98	1678	8.11	319	1.54	10	0.05	35	0.17	141	0.68	-	-
新潟県	1581	15.97	5	0.08	148	2.47	1041	17.35	134	2.23	7	0.12	50	0.83	47	0.78	-	-
富山県	795	16.56	2	0.07	124	4.28	513	17.69	64	2.21	2	0.07	13	0.45	27	0.93	-	-
石川県	601	12.52	10	0.34	103	3.55	369	12.72	64	2.21	2	0.07	1	0.03	16	0.55	-	-
福井県	551	17.22	10	0.45	82	3.73	283	12.86	36	1.64	12	0.55	6	0.27	19	0.86	-	-
山梨県	582	14.20	-	-	20	0.80	109	4.36	13	0.52	-	-	1	0.04	8	0.32	-	-
長野県	1534	17.63	-	-	122	2.22	409	7.44	127	2.31	3	0.05	25	0.45	30	0.55	-	-
岐阜県	317	3.77	1	0.02	37	0.70	301	5.68	59	1.11	12	0.23	8	0.15	36	0.68	-	-
静岡県	2487	18.15	1	0.01	87	1.01	662	7.70	191	2.22	2	0.02	23	0.27	48	0.56	1	0.01
愛知県	892	4.67	19	0.10	209	1.15	1521	8.36	329	1.81	26	0.14	23	0.13	95	0.52	-	-
三重県	530	7.26	-	-	88	1.96	652	14.49	78	1.73	4	0.09	23	0.51	46	1.02	-	-
滋賀県	716	13.51	-	-	11	0.34	150	4.69	43	1.34	3	0.09	4	0.13	8	0.25	-	-
京都府	1420	12.24	-	-	32	0.46	590	8.43	59	0.84	9	0.13	3	0.04	34	0.49	-	-
大阪府	3186	10.48	17	0.09	135	0.69	1579	8.10	275	1.41	19	0.10	20	0.10	115	0.59	1	0.01
兵庫県	2616	13.21	13	0.10	89	0.70	1351	10.55	262	2.05	2	0.02	26	0.20	109	0.85	-	-
奈良県	792	14.40	-	-	10	0.29	201	5.74	40	1.14	1	0.03	3	0.09	14	0.40	-	-
和歌山県	1175	23.50	1	0.03	9	0.29	217	7.00	65	2.10	3	0.10	4	0.13	13	0.42	-	-
鳥取県	439	15.14	-	-	36	1.89	260	13.68	27	1.42	2	0.11	10	0.53	17	0.89	-	-
島根県	321	8.45	-	-	8	0.35	187	8.13	49	2.13	1	0.04	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	1000	11.90	1	0.02	27	0.50	452	8.37	97	1.80	2	0.04	3	0.06	21	0.39	-	-
広島県	224	1.88	13	0.17	77	1.03	1156	15.41	127	1.69	11	0.15	12	0.16	49	0.65	-	-
山口県	1310	18.71	10	0.20	103	2.10	856	17.47	116	2.37	15	0.31	11	0.22	44	0.90	-	-
徳島県	988	26.00	-	-	34	1.48	197	8.57	49	2.13	2	0.09	4	0.17	12	0.52	-	-
香川県	1135	22.25	-	-	26	0.81	294	9.19	42	1.31	5	0.16	4	0.13	17	0.53	-	-
愛媛県	756	11.81	6	0.15	71	1.82	512	13.13	71	1.82	3	0.08	1	0.03	35	0.90	-	-
高知県	855	17.45	-	-	34	1.10	299	9.65	58	1.87	-	-	16	0.52	16	0.52	-	-
福岡県	3396	17.15	12	0.10	244	2.03	2046	17.05	340	2.83	10	0.08	10	0.08	128	1.07	3	0.03
佐賀県	788	20.21	3	0.13	40	1.74	345	15.00	74	3.22	13	0.57	3	0.13	29	1.26	-	-
長崎県	507	7.24	-	-	20	0.45	493	11.20	80	1.82	4	0.09	2	0.05	19	0.43	2	0.05
熊本県	1045	12.90	4	0.08	58	1.18	1011	20.63	110	2.24	2	0.04	1	0.02	44	0.90	2	0.04
大分県	1464	25.24	-	-	46	1.28	826	22.94	98	2.72	4	0.11	3	0.08	26	0.72	1	0.03
宮崎県	803	13.38	4	0.11	69	1.86	829	22.41	160	4.32	26	0.70	12	0.32	44	1.19	-	-
鹿児島県	1472	15.02	10	0.17	29	0.48	681	11.35	154	2.57	11	0.18	3	0.05	45	0.75	-	-
沖縄県	664	11.45	-	-	7	0.21	91	2.68	302	8.88	9	0.26	9	0.26	14	0.41	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年9週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	49	0.02	74	0.02	218	0.07	1557	0.51	10	0.02	395	0.62	4	0.01	6	0.01	4	0.01
北海道	-	-	2	0.01	-	-	76	0.52	-	-	13	0.45	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	6	0.14	46	1.10	-	-	1	0.09	-	-	1	0.17	-	-
岩手県	1	0.03	-	-	2	0.05	29	0.76	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	1	0.02	1	0.02	72	1.22	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	90	2.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	2	0.07	9	0.30	-	-	2	0.25	-	-	1	0.10	-	-
福島県	-	-	-	-	34	0.71	23	0.48	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	5	0.07	13	0.18	-	-	32	2.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	4	0.09	29	0.63	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	-	-	-	-	62	1.00	-	-	22	1.57	2	0.20	-	-	1	0.10
埼玉県	1	0.01	4	0.03	35	0.22	40	0.25	-	-	12	0.33	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	2	0.02	20	0.15	49	0.37	1	0.03	18	0.53	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	3	0.02	10	0.07	13	0.09	-	-	8	0.57	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	1	0.00	6	0.03	58	0.28	-	-	36	0.86	-	-	-	-	1	0.08
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	52	0.87	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	8	0.28	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	11	0.38	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	-	-
福井県	-	-	4	0.18	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	6	0.24	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	6	0.11	12	0.22	-	-	4	0.36	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2	0.04	23	0.43	1	0.08	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	3	0.03	43	0.50	-	-	8	0.40	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	5	0.03	1	0.01	87	0.48	-	-	16	0.46	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	11	0.24	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	13	0.41	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	8	0.11	1	0.01	-	-	11	0.16	-	-	12	0.75	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	9	0.05	2	0.01	56	0.29	2	0.04	10	0.20	-	-	1	0.07	1	0.07
兵庫県	-	-	5	0.04	1	0.01	139	1.09	-	-	9	0.26	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	1	0.03	15	0.43	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	-	-	-	-	20	0.65	-	-	2	0.50	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	28	1.47	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	17	0.31	-	-	2	0.04	32	0.59	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	1	0.01	-	-	38	0.51	-	-	19	0.95	-	-	1	0.05	-	-
山口県	-	-	4	0.08	1	0.02	28	0.57	1	0.11	11	1.22	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	4	0.17	12	0.52	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	3	0.09	4	0.13	-	-	10	3.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	7	0.18	14	0.36	-	-	17	2.43	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	2	0.06	1	0.03	48	1.55	-	-	8	2.67	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	2	0.02	6	0.05	3	0.03	51	0.43	1	0.04	17	0.65	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	2	0.09	-	-	1	0.25	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	35	0.80	3	0.38	6	0.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	17	0.35	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	4	0.11	-	-	26	0.72	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	6	0.16	34	0.92	31	0.84	-	-	10	2.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	21	0.35	52	0.87	-	-	5	0.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	1	0.03	1	0.03	5	0.15	1	0.10	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年9週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	82	0.17	4	0.01	8	0.02
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	4	0.33	1	0.08
秋田県	5	0.63	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	3	0.12
神奈川県	-	-	-	-	3	0.25
新潟県	10	0.83	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	7	0.70	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	2	0.25	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	14	1.27	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	7	1.00	-	-	1	0.14

感染症週報 第5巻、第9号 平成15年3月14日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。